

「村を守る消防団」

西原中学校二年 古閑 志緒莉

消防団とはとてもいい仕事だと思っています。

理由は、火災から私達の村を守り、時には火災があってもすぐ火災の発生した場所に行き、すぐに火を消して火災の規模を大きくしないようにしています。村の安全を守り、村のために活動をおこなっている消防団はとてもすごいです。

私が小学生の時、高遊原南消防署に見学に行きました。消防署の中には消防服やヘルメットなどがありました。また、人の模型を使い、一人ずつ人口呼吸のやり方を教えてもらったり、救急車に乗せてもらって中にあるものを見たり、消防車に乗せてある火災がおきて火を消したりする道具を見せてもらったりしました。また、中学年の時には少年消防クラブに入り、少年消防手帳をもらいました。中にはクラブ活動についてや火災の予防や大きな地震のときはどうするか、消火器の扱い方

や応急手当の仕方など「いざ」という時に使えることが書いてあります。この手帳を大切に少しでも自分自身や人のためになるようにしていったらいいなあと思います。

消防団については知っていたけれど、どのような仕事をしてどんな活動をするのかということまで具体的に知りません。でも、地区である消防車の防水やひなん訓練などがある時には参加します。団長が指示したことは団員がしっかりと行って、整列などをする時

きれいに並び、返事も大きく出していました。このように消防団はとてもいい仕事をしていきます。しかし、火災は起きないほうがよいものです。一人一人が気をつけていれば少なくなると思います。普段から火の消し忘れに注意し、冬になるとストーブも使うのでストーブの消し忘れに注意して少しでも火災などを減らせばいいなあと思いました。消防団は村の人々のためや村全体のためにいるいろいろな事をおこなっています。小学校では、ひなん

訓練や地震があった時の対応をやりました。
このような事を生かして火災などに気をつけ
ていきたいです。そして、少しでも火災など
が減せたらいいな^あと思いました。